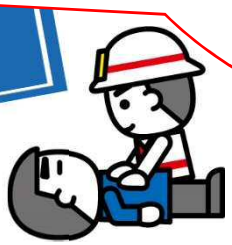
第３６号
令和２年９月号

安心救急ネット京都 通信

発行： 安心救急ネット京都事務局
（京都市消防局 消防学校技術指導課内）

心肺蘇生法の実施方法!

新型コロナ感染症対策



新型コロナウイルス感染症が流行している状況では

「すべての傷病者に感染の疑いがある」ものとして対応してください。

① 感染予防のため，マスクを着用しましょう。

② 意識や呼吸の確認するときは，倒れている人の顔に，あまり近づきすぎないようにする。（1メートル以上離す）

③ 胸骨圧迫を開始する前に，※口と鼻をハンカチやタオルで覆う。

（※ウイルスの飛散を防ぐため）

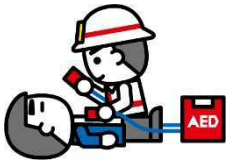
倒れている人が大人の場合

胸骨圧迫のみを継続し，人工呼吸は行わない。

倒れている人が子供の場合

救命講習を受け，人工呼吸の技術を身につけていて，人工呼吸を行う意思がある場合には，胸骨圧迫に人工呼吸を組み合わせる。

救急隊が到着したら



① 速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。
② 鼻と口にかぶせたハンカチやタオルなどは，直接触れずに廃棄する。

救急の電話相談窓口＃7119を10月から開設

京都市消防局　警防部救急課

「家族の様子がなんとなくおかしいけど，救急車呼んだ方が良いのかな…」「具合が悪いけど病院に行った方が良いのかな…」

こんなとき，あなたはどうしますか？

急なけがや病気をしたとき，救急車を呼んだ方が良いのか，今すぐに病院に行った方が良いのかなど，判断に迷うことがあると思います。

そんなとき，医療の専門家に電話で相談できるのが＃7119です。

京都市では，本年10月から京都府及び府内消防本部と共同して，救急の電話相談窓口＃7119を開設します。

本年10月の開設に当たり，＃7119の概要や利用方法を御紹介します。

＃７１１９とは？

＃7119とは，電話相談窓口につながる全国共通の短縮番号のことであり，相談窓口に常駐する看護師等が相談者から病気やけがの症状をお聞きし，救急車を呼ぶべき，急いで病院を受診すべきなど，緊急度に応じた適切な対応を助言するとともに，受診可能な医療機関を案内します。

※ダイヤル回線・IP電話からは短縮ダイヤルではなく，0570-00-7119から掛ける必要があります。

京の救急受診ガイド

令和2年10月1日スタート

救急車を呼ぶ?
病院へ行く?
様子を見る?
「急な病気」や
「けが」で迷ったら…

救急の電話相談窓口

救急安心センターきょうと

24時間 365日

- 看護師等がアドバイス
- 医療機関も案内
- 全年齢で相談可

携帯電話ゃプッシュ回線（笠置町・南山城村等を除く）からは

シャープ

#7119

または ☎0570-00-7119

※ダイヤル回線など全ての電話で利用可能。笠置町・南山城村等からは、こちらにおかけください。

※通話料は相談者の御負担となります。

小児の「急な病気」や「けが」は…

携帯電話ゃプッシュ回線（笠置町・南山城村等を除く）からは

シャープ

#8000

または ☎075-661-5596

※ダイヤル回線など全ての電話で利用可能。笠置町・南山城村等からは、こちらにおかけください。

対象　府内に住む15歳未満の子どもや家族等

相談時間　午後7時～翌朝8時　※土曜日（祝日・年末年始を除く）は午後3時から翌朝8時

小児科医・看護師の専門的対応や育児相談も可能

▶使って良かった！#7119

夜中に熱が出て不安になりましたが，看護師のアドバイスで冷静に判断でき，翌朝，安心して近くの病院で診察時間内に受診できました。

20代男性

胸の痛みが続き，電話したところ，看護師から救急車を呼ぶようアドバイスを受け119番通報。搬送先の病院で心筋梗塞の緊急手術を受け，術後は良好でした。

50代女性

急にろれつが回らなくなり，心配した家族が看護師のアドバイスを受け，直ちに119番通報。搬送先の病院で脳梗塞と分かり，早期治療で後遺症はなかったです。

60代男性

これらの電話は、あくまで看護師等による相談・助言を目的とするものです。

・呼吸をしていない。・脈がない。・意識がない。・大量に出血している。…などの場合 や
自身が緊急と思ったときは、**ためらわず119番で救急車を呼んでください。**

（発行）救急安心センターきょうと運営協議会（京都府と府内の全消防本部で構成する協議会）
事務局 京都府健康福祉部医療課

救急要請ガイドブックの御紹介

高齢者施設編

本ガイドブックは，高齢者福祉施設等で勤務されている職員さんに読んでいただくことを想定して作成しました。施設内で実践していただける病気やケガの予防策をご紹介するとともに，救急事故発生時の対応を円滑におこなうために準備・実行していただきたい事項をご説明する内容になっています。

主な内容

◇救急事故の予防について
- 感染防止対策　・転倒防止　・誤嚥，窒息防止　など

◇事前に準備していただきたいこと
- かかりつけ医等との連携について
- 「緊急時情報シート」の作成についてなど

◇救急要請のポイント
- 初動のポイント（発見から通報，応急処置まで）
- 救急隊到着後の対応など

◇各種資料
- 新型コロナ流行期の心肺蘇生法について
- 救急安心センターきょうと（＃７１１９）について　など

救急要請ガイドブック（高齢者施設編）はＱＲコードからアクセスできます。（京都市消防局ホームページ内）

お問い合わせ　TEL 075-212-6705
京都市消防局　警防部救急課